

障害者支援施設ウインドヒル 〒761-0450 香川県高松市三谷町3851番地 TEL 050(3734)6707 FAX 087(888)4278 グループホーム風見の家 〒761-0450 香川県高松市三谷町3890番地1 TEL·FAX 087(888)2557 管理者 松原 正子

2023.3

Vol. 38

発 行/社会福祉法人ポム・ド・パン 発行日/2023年3月1日



ギフトグッズ社長様から、「松原さん、利用者さんに作業してもらいたいのがあるんだけれど…」との1本の電話からご縁を頂きました。ルーティーンのこだわりを力に変える素晴らしい作業です。。作業内容はレンタルアップしたDVDを、ケースよりジャケットとDVDを取り出し、順番に並べてまとめて袋に入れていく作業になります。ネット販売もされており、発送時にコンパクトにするための作業です。

単純作業に見えますが、「シリーズ物」「派生物」「ジャンル別」等に仕分けが必要で、最初は職員、利用者様も戸惑っていましたが、今では間違いなく作業が出来るように成長しました。現在の「はなまるうどんの運搬用箱折作業」に加えて、きっちりメリハリのある作業に取り組めています。利用者様は、毎月振り込まれている工賃を楽しみにしています。令和3年度、一人当たりの年間平均工賃は242,837円でした。

ポム・ド・パンの理念

- ・障害があっても、誰からも愛される人に成長できるように、丁寧に寄り添って関わります。
- ・障害があっても、正しいことを根気よく伝えることにより、何歳になっても成長することを信じます。
- ・障害があっても、できることが増えるように、様々なことを獲得できるように、一貫性をもって、継続して支援します。
- ・障害があっても、その方の得意なことを、大好きなことを見つけ、これを通して、生活基盤を作ります。



ウインドヒルでの一日





6:30

起床

起床時には布団をあげ、三 つ折りにします。

7:30

配膳をする人、待ってる人、 みんなで「いただきます」を するまで少しの我慢です。

9:10



午前 日中活動開始

洗顔は、洗面器を用いて丁寧 に洗えるようになりました。







皆で仲良くおいしく残さずに頂きます。



人数分を均等に分けます。



自分の居室はもちろんの事皆 が寛ぐリビングのカーテンを 開けるのが定着致しました。

体力づくりレクリエーション

でまざまな経験を重ねて、身体機能・生活活動の向上 を目指す。体力づくり・レクリエーション…楽しく。 活き活き、元気よく!

- ●バドミントン ●卓球
- ●音楽リズム ●フレッシュクラブ
- ●山登り
- ●ウォーキング
- ●サーキット
- ●ジョギング

トピックス② メジロ

小雨の降る中、木陰で一休み



🔐 レクリエーション 🔐

- OSAMUパン
- アートリンク
- ●水上さんと何かを作ろう

トピックス① 月下美人

玄関に置いてある「月下美人」 に一輪の花が咲きました。本 来は夕方から咲き始め朝には しぼんでしまいますが、この 写真は朝の8時半過ぎに撮影 したものです。



トピックス③ **本**業

蕾が出来始めました。春はも うすぐです。





掃除機の利用



雑巾の利用

16:00

ジョギング 版とウォーキ ング版に分か れて、体力づ くり。ウイン ドヒル進入

路の登り坂を活用して、8週程度歩きます。 ジョギングは、音楽に合わせて、しっかり と走ります。

13:10

環境整備



夕方には洗濯物の取り込みを します。今日はいい洗濯日和 でした。









皆でユニットの環境整備、カーペットスペース、扉のレール、窓のサッシ、棚の上等普段掃除の行き届かないところも綺麗にします。また時間がある時には廊下を雑巾がけしています。





トピックス® キウイフルーツ

路地ものの新鮮なキウイフルーツを清水さんよりコンテナ3個分頂きました。



就寝



健康な歯を保つ為、仕上げ みがきとフッ素の塗布を毎 晩かかさず実施です。

まんのう公園遠足

2022年11月29日 パート1



美味しそうですね。 つい手を伸ばしたくなります。





当日はあいにくのお天気でしたが、公園で皆で食べたお弁当はとても美味しく、紅葉を見ながら楽しい時間を過ごしました。

施設外での活動はより安全面を意識していますが、「経験」の積み重ねで皆さんの成長を時間できる貴重な時間でした。コロナ禍で行事や外出の機会が減っていますが「wiht コロナ」の中で、少しずつ元の生活を目指していきたいと思います。

主任生活支援員 和田真由美

11月29日(火)満濃池森林公園に遠足に行きました。 ぐずついていた天気も、公園に着く頃には回復し、遊歩道を散策した後、森林の館でお弁当を食べました。 カメラ越しに見る利用者様の楽しそうな笑顔に癒やされながらシャッターを切りつつ私自身も皆と一緒に自然を満喫した1日でした。

生活支援員 石田 恵美



2022年11月30日(水)に満濃池絵森林公園に中型バスを借りて遠足に行きました。現地では、まだ紅葉が残る中散策したり、芝生広場で走ったり、アスレチックをしたりと、楽しい時間を過ごすことができました。施設外での食事は久しぶりであり、皆さんとても喜んで弁当を食べ、帰りのバス中でも「弁当おいしかった」の声が多く聞かれました。また、公共のトイレの使用や、休憩場所もきれいに静かに使用することができ、日頃の支援が外出時にもつながっているとうれしく感じました。これからもこのような機会を作り、一緒に楽しんでいきたいと思います。

主任生活支援員 鎌田 泰明



まんのう公園へ遠足に行きました。

バスの中では歌を歌ったり手遊びをしたり外の景色を見てお話したりしました。公園で紅葉を見ながらの散策をして午後から広場でレクリエーションをしました。たくさん身体を動かし気持ちの良い汗をかきました。昼食のお弁当は「どれから食べるの?」「好きなおかずはどれかな?」「お弁当美味しいね」と、利用者様と楽しい会話をしました。

今後の行事もコロナ前と同じように開催され利用者 様と楽しい時間を増やしていきたいです。

主任生活支援員 松田 仁美

初、詣

2023年1月5日



三谷八幡神社に初詣、利用者様のみなさんは何をお願いしたのかな?お賽銭を入れ上手に参拝しました。 その後お祓いを静かに受ける事ができ、玉串も神主様 に作法を学び上手に捧げる事が出来ました。今年1年、 元気で過ごされる事間違いないです。

生活支援員 清田 光成

トピックスの おみくじ

イベント用に使用する おみくじの成型作業の 依頼を受け無事に納品 しました。





11111 1111

1月5日良い天気に恵まれ、利用者様と歩いて三谷八幡宮まで初詣に行きました。二礼二拍手一礼を教えていただき、いざ実践!!5円玉をおさいせんの中へ……。

上手に出来るかな?ドキドキ。。。全然心配する必要 ありませんでした。みんな、きちんと順番を守り、と ても上手に参拝することが出来ました。継続は力なり、 毎年の参拝は力になっています。

その後、宮司さんにお祓いをしてもらい、お守りも 頂きました。

最後にみんなで記念撮影。今年も1年健康で、みんなが幸せな1年を送れますように。

生活支援員 新藤沙也香



1月6日冠纓神社へ初詣に行きました。バスを降り少し歩くと昔のままの原生林(香川県の天然記念物)が目の前に広がっていました。その先の表参道は60段ほどの石段でしたが鳥の鳴き声を聞きながらゆっくり上がって行きました。バス車内で練習したお参りの手順も上手く出来、利用者様の成長を感じました。

生活支援員 安倍 晶子



初詣の行事に参加することが初めてであり、利用者 様のお参りする様子が新鮮でした。慣れた手付きでお 賽銭が出来る方の姿が印象的でした。

冠纓神社にはたくさんの正月飾りがあふれており、 お正月ムードを目でも楽しむことができました。今年 もよろしくお願いします、としっかりお参りでき一年 健康ですごしていきたいです。道中もまとまり集団行 動がとれていて日々の成長を見て取れる機会となり良 い時間となりました。

生活支援員 香西佐知子





◆◆ 香川県障害者芸術祭2022

2022年11月6日~7日

サンポート高松 市民ギャラリーコミュニケーションプラザにて作品が展示されました。その後巡回展に利用者様2名 の作品が展示されました。









今年の「キラリ★と光る芸術祭」は 瀬戸内国際芸術祭が開催されている 中で行われ、会場は例年以上に輝い ていました。終了後ウインドヒルよ り2作品が巡回展(大西・アオイ記 念館)での展示となりました。世界 各国の人たちも集まるイベントに、 障がいを抱えた方々の力強い作品を 知ってもらうことができた素晴らし いイベントでした。

主任生活支援員 和田真由美



講演会に招かれて

管理者が自身の体験を基に「子供との関わり方について」講演をしました。講話を聞かれた保護者さんより感想を 多数いただきましたので、ほんの一部ですがご紹介させて頂きます。

- ①「人権・同和教育講演会」高松市立檀紙幼稚園 令和4年 11月4日実施」「やればできた!やったらできた!多様 性を認めてともに楽しめる社会を」まとめより抜粋
- どのような人にも子どもにも人権がある、相手が難しい ことがあるなら、自分が合わせていくことで、できるよ うになることがあると学びました。
- 2 息子さんといろいろなことを経験されていて、お子さ んのおかげという考え方が素敵だと思いました。もっと 子どもと向き合っていきたいと思います。忙しいときも あるけれど、子どもの話を聞いてあげるということがと ても大事だと改めて思いました。耳を傾けて子どもの変 化や気持ちに気づいてあげられる親になりたいと思いま
- 3 一人一人大人も子どもも特性があり、それをいかに楽し みに変換するか、工夫次第で新しい発見があるというこ とを感じました。

トピックスの 梅の木に巣

この巣の主は誰なんだろう。



- ②令和4年度高松市特別支援保育現地研修会 令和4年10月20 日実施 まとめより抜粋
- 1 実体験を元にした講話がとてもわかりやすかった。「待てる こと」「座ること」「聞けること」を目標に関わって行きたい。
- 2 実体験を元に色々なことを聞いて勉強になった。心に響いた 言葉は「一番の療育者は近くにいる人」職員が選ぶのではな く、利用者(子ども)から選ばれるような人になりたい!! と心から思った。
- 3 先を見越して、様々な体験をさせてあげられる環境の大切さ を知ることができてよかった。
- 4 障がいがあってもなくても、大きくなって社会の中で行きて いくことを見据えたとき、幼児期に社会性を身につけておく ためにできることを、保育所生活の中でも意識して行きたい と思う。また、印象に残っている"心の引き出しをいっぱい" できるよう、正しいこと、楽しいこと本物の体験がたくさん できるような保育を心がけていきたいと思う。
- 5 気になる子どもに関わるときに「しょうがない」とつい感じ てしまうことがあったが、『善悪の区別をはっきりと伝える』 『能力に限界を持たない』『一人の人間として尊重する』など の言葉を聞いて、壁を作ってしまうのではなく、一人一人の 姿としっかり向き合ってできることを増やしたり、伸ばして いくことが大切だと感じた。
- 6 保護者の役割として、『子どもの引き出しをいっぱいにする』 という言葉が印象に残った。子どもが園で過ごしている時間 を大切に、毎日様々な気づきや学びがあるように、保育者の かかわり方や環境の工夫をしていくことが大切であると感じ た。そして、子どもの引き出しをいっぱいにするためには、 保育者自身も常にかかわりを考えたり、それを実際にやって みたりすることで、自分の引き出しをいっぱいにしていくこ とが必要であると感じた。





虐待防止 2022年11月14日

11月14日、香川県障害福祉相談所 前田恵美子次長を講師にお迎えし、「障害者虐待防止法の概要と身体拘束の適正化等について」をテーマに研修会をしていただきました。「障害者虐待防止法は何のためにあるのか」また「障害者の尊厳とは何か」「本人の幸福追求の支援をしているか」を今一度原点に帰って考える良い時間になったと思います。

日々の支援に正解はなく、マニュアル通りにやろうとしてもマニュアルにないことが起こるのが毎日です。日々の小さな出来事への気づき、共有、改善していくことが障害のある方を一人の人として尊重し、自立及び社会参加に繋がるのだと感じました。

感染症について

2023年1月16日



1月16日に高松市保健所より講師を4名むかえ、「職員の感染対策~レベルアップの要点~」として、さまざまな感染症についての研修会をしました。特にウイルスについて、(コロナウイルス・インフルエンザウイルス・ノロウイルス)の対処法についてとノロウイルス等による嘔吐物処理の実技講習を教えて頂き、改めて、ワクチン接種、正しい

手洗いの方法、換気、マスク使用の大切さを実感しました。

嘔吐物処理では、嘔吐物を中心に半径2mの汚染区域となる事、速やかにかつスマートで無駄のない処理法を教えて頂き各職員が再確認する事ができ良かったと思います。ウイルスは目に見えない物で、いつ、誰が発症するかはわかりません。日々の感染対策の徹底と病気に負けない体力づくり、規則正しい生活を心がけ、利用者様職員ともに健康で元気に毎日過ごせるように取りくんでいきたいと思います。

生活支援員 加藤 理江

トピックス② 水イム

昨年11月に水仙の球根を頂き、皆で植えました。 春に花が咲くのが楽しみです。







新しい職員

** ** ** **

- ①趣味 ②自分を動物に例えると
- **③利用者様とのエピソード**
- **④フリートーク**



夛田 美惠子 (R4.11月入社)

- ①観葉植物の世話
- ②サル
- ③始めて利用者様と会った時、キラキラした瞳がとても印象的でした。純粋な心を映していると感じられました。
- ④ 夜勤支援員として皆さんと仕事をさせて頂くことになりました。利用者様一人一人の特性を覚え楽しく仕事ができるように頑張りたいと思います。

松本 ひろ子 (R4.12 月入社)

- ①ミシンを踏んで小物を作ること
- ②コアラ つぶらなひとみと前歯が少し見えている いつも緩慢として いるところ
- ③初日から「名前は何て言うの」「松本さん」とストレートな言動に圧倒されてしまいました。「よろしくお願いします」返事を刷るので精一杯でした。これから楽しい時が過ごせるよう努めたいと思います。
- ④最近はひとりで韓流華流ドラマを見て、笑ったり泣いたりしています。

タンザニア ポレポレクラブ~(切手寄贈)

2014年より定期的に使用済切手を関係者の方々より協力していただき、収集して寄贈しております。

今回は2kg 集まり送付いたしました。現在、当法人の寄付により世界遺産キリマンジャロの山に「78本」の植林に繋がっております。会報を読まれた方、今後ともこの収集活動にご理解頂き、ご協力頂きます様、どうぞよろしくお願い申し上げます。





新型コロナ対応についてのご報告

令和 4 年 12 月 利用者様及び職員において新型コロナ感染症の陽性者が多数判明いたしました。すぐに高松市等関係機関と連携を取りながら、施設内において感染予防対策に則り、ゾーニング等対応致しました。

職員全員で三年間感染者を出すことなく、感染防止対策を実施して参りましたが、12月8日の発熱者より陽性となり、ユニット毎のゾーニングを実施し、早期発見、早期隔離、早期対応を職員が一丸となり、取り組みました。1ユニットが療養期間を終えたころに次の1ユニットから陽性者が発症、計3回にわたりウイルスの感染力は私たちの想像を超えており、日を追うごとに陽性者が増えていきました。

その間施設での行事は全て中止にし、日課も制限され、ユニット内での活動が中心となりました。そんな中ですが、利用者様はユニットから出れない状況を察してくれたかのように穏やかに余暇を過ごされ、今までの経験が生きており、仲間と共に大変な環境を理解してくださっている様子でした。

年末が近づいた頃には、定められた療養期間を経て通常の日課活動が出来るようになりました。また感染予防の為、自宅に帰られた利用者様もゆっくり静養され、年始には元気に戻ってこられました。

今回のコロナ陽性者発生において、重症になる方がいらっしゃらなかったのが幸いです。今後もコロナに限らず感染症予防対策をしっかり行い、利用者様の安心・安全のために必要な措置を講じてまいりたいと思います。

この度の件、抗原検査にご協力頂きました後見人様・保護者様、施設の状況を心配でご連絡頂きました皆様、物資の支援をしていただいた高知県 あじさい園様には、この場を借りて熱く御礼申し上げます。ありがとうございました。

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会会員

敬称略・順不同

●令和5年度個人会員 令和4年10月11日~令和5年2月5日

清水 勝美 三原 憲二 青井 美彦 大門 亘 横田 忠 森 里子 鏡 直子

●令和4年度団体会員 令和4年10月11日~令和5年2月5日

(株) カナック

令和4年10月11日~令和5年2月5日現在、以上の方々に継続及び新規にご入会頂きました。 令和5年2月5日以降にご入会の方々は、次回の会報にのお名前を掲載させて頂きます。本当にありがとうございます。

社会福祉法人ポム。ド・パシ後接会のご案内

社会福祉法人ポム・ド・パン後援会は、当法人が運営する障害者支援施設「ウインドヒル」をサポートしています。 今後長期にわたり、利用者様一人ひとりを大切にした理想的な療育を行い、施設の整備を継続的に発展させてゆくに は、より多くの方々のご支援を必要としております。

何卒、私達の趣旨をご理解いただき「社会福祉法人ポム・ド・パン後援会」にご入会下さいますようにお願い申し上げます。

なお、すでに会員の方には毎年年度初め4月1日付で継続お願いのご案内と振込用紙を送付いたします。よろしくお願いいたします。

[年 会 費]個人会員 一□ 3,000円 団体会員 一□ 10,000円

[ご入金方法] 郵便振替 口座番号 01690-3-74305 口座名称 社会福祉法人ポム・ド・パン後援会

あたたかいご支援、本当にありがとうございました

社会福祉法人ポム・ド・パンのホームページです。 当法人からのお知らせやウインドヒルでの取り 組みなどを随時更新していますので、

是非ご覧ください。スマートホンでは、右の QR コードから読み取れます。

アドレス: http://www.pomme-de-pin.or.jp/



社会福祉法人ポム・ド・パン

トピックスのひな祭り

3月3日にひな祭りお楽し み会を開催します。

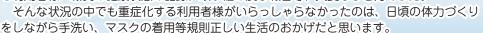




編集後記



昨年末の利用者様、職員多数の新型コロナ陽性者発生を振り返ると、「新型コロナウイルス感染症等発生時における業務継続計画」に則り、職員一丸となって対応して参りましたが、今まで経験したことのない事ばかりでした。現場の職員は毎日の防護服の着用、職員も含め施設にいる全員の抗原検査の実施、外出される利用者様への抗原検査の協力依頼、日々変わる利用者様・職員の健康状態の記録、取り纏め及び報告等、大変なひと月でした。





松ぽっくりのパンです。